学校番号	Ｔ０２０６

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	精選国語総合改訂版　（三省堂）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語総合では、現代文（随筆、評論、小説）と古典（古文・漢文）の分野を一通り学びます。
・持ち物は、教科書と筆記用具です。授業では、本文とノートが組み合わされた冊子を使いますので、ノートの準備は不要です。冊子は授業が終わるたびに回収します。
・基礎的な漢字の読み書きや言葉のきまりについて理解できるようになるための学習も行います。
・授業に出席し、しっかり内容を理解することが、定期テストの成績に結び付きます。
・定期テストは計画的に勉強をしてください。

２　学習の到達目標

・基本的な漢字の読み書きができる。
・読解の基礎を学ぶことで登場人物の心情や文章の内容、構成を理解できるようになる。
・伝統的な言語文化に親しみ、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.話す・聞く能力	c.書く能力	d.読む能力	e.知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・出席状況 ・提出物 ・行動の観察	・行動の観察 ・記述の確認	・行動の観察 ・定期考査	・行動の観察 ・定期考査 ・提出物	・定期考査 ・確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d	e		
前期		随筆	教材：「「待つ」ということ」	○			◎	○	ａ：具体例や指示語、文章の構成などを手がかりに作者の主張を理解しようとしている。 ｄ：具体例や指示語、文章の構成などを手がかりに作者の主張を理解している。 ｅ：文章を読むときの注目点について理解している。	a：行動の観察 d：定期考査 e：定期考査
		古文入門	教材：「児のそら寝」 文法：五十音図、いろは歌、歴史的仮名遣い（自作教材）	○			◎	○	ａ：省略された主語、物語の展開、重要古語といった点に注意して、登場人物の心情を理解しようとしている。 ｄ：省略された主語、物語の展開、重要古語などに注意して、登場人物の心情を理解することができている。 ｅ：古文を読むうえで必要となる文法のきまりを理解している。	a：行動の観察 d:記述の確認、定期考査 e：定期考査
		手紙の書き方	教材：自作教材	○		◎		○	a：手紙の基本的な書き方に則り、文体や語句など、適切な表現の仕方で書こうとしている。 c：文体や語句など、適切な表現の仕方で書いている。 e：手紙の基本的な書き方について理解している。	a：行動の観察及び記述の点検 c：記述の確認及び提出物 e：定期考査

後期		俳句	・俳句入門（俳句の形式、季語など） ・俳句の鑑賞と創作 教材：自作教材	○		○	◎	○	ａ：人物、情景、描写などを、書き手がどのように表現しているのかを捉え、言葉の深さや表現上の工夫に気づこうとしている。 c：俳句の決まりにしたがって、心情や情景などを自分の言葉で表現しようとしている。 ｄ：人物、情景、描写などを、書き手がどのように表現しているのかを捉え、言葉の深さや表現上の工夫に気づいている。 ｅ：俳句の決まりや、表現の特色について理解している。	a：行動の観察 c：記述の確認及び提出物 d:記述の確認、定期考査 e：定期考査
		評論	教材：「コインは円形か」	○			◎	○	ａ：具体例や指示語、文章の構成、レトリックなどを手がかりに作者の主張を理解しようとしている。 ｄ：具体例や指示語、文章の構成、レトリックなどを手がかりに作者の主張を理解している。 ｅ：レトリックの効果について理解している。	a：行動の観察 d:記述の確認、定期考査 e：定期考査
		小説	教材：「羅生門」	○	○		◎	○	ａ：人物や場面の設定をおさえ、登場人物の心情を理解しようとしている。 ｂ：他の生徒の発表を聞くことで、登場人物の心情について自分の読みを深めようとしている。 ｄ：人物や場面の設定をおさえ、登場人物の心情を理解している。 ｅ：比喩のもたらす効果について理解している。	a:行動の観察、記述の確認 b:行動の観察、記述の確認 d:記述の確認、定期考査 e：定期考査
		漢文入門	・返り点、送り仮名（自作教材） ・故事成句（教科書所収の作品）	○			◎	○	ａ：先人がどのようにして中国の文化を受容したのか考えようとしている。 ｄ：漢文の特徴や、文章の構成を理解している。 ｅ：漢文を読むために必要な返り点、送り仮名について理解している。	a：行動の確認 d:記述の確認、定期考査 e：定期考査

※　表中の観点について　a.関心・意欲・態度　b.話す・聞く能力　c.書く能力
d.読む能力　e.知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高

いものから、◎、○、空欄として示している。